

第79回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	小 口 現 金	当 座 預 金	受 取 手 形
売 掛 金	有 価 証 券	備 品	支 払 手 形
買 掛 金	当 座 借 越	仮 受 金	引 出 金
固定資産売却益	仕 入	発 送 費	通 信 費
交 通 費	雑 費	手 形 売 却 損	固定資産売却損

- a. 青森商店から商品 ¥620,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ¥12,000 は現金で支払った。
- b. 定額資金前渡法を採用している北海道商店の会計係は、庶務係に小口現金として ¥25,000 を前渡ししていたが、本日、当月分の支払高について、次のとおり報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。
通 信 費 ¥8,000 交 通 費 ¥10,000 雑 費 ¥2,000
- c. 帳簿価額 ¥380,000 の備品を ¥310,000 で売却し、代金は現金で受け取った。
- d. 福島商店に対する買掛金 ¥270,000 を小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金勘定の残高は ¥180,000 であり、限度額を ¥500,000 とする当座借越契約を結んでいる。
- e. 売買目的で岩手産業株式会社の株式 20 株を / 株につき ¥58,000 で買い入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- f. さきに、仮受金勘定で処理していた ¥150,000 について、本日、その金額は、得意先秋田商店に対する売掛金の回収額であることがわかった。
- g. 宮城商店から、商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥240,000 を取引銀行で割り引き、割引料を差し引かれた手取金 ¥237,000 は当座預金とした。
- h. 事業主が私用のため、原価 ¥6,000 の商品を使用した。

2

山形商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

1月23日 酒田郵便局で収入印紙 ¥9,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。

(伝票番号 No. 4)

〃 日 米沢商店から借用証書によって借り入れていた ¥270,000 を小切手#18を振り出して返済した。(伝票番号 No. 36)

3

神奈川商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の現金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。

(2) 売上帳と売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、現金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1月 7日 埼玉商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥80,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

A 品	600個	@¥500	¥300,000
B 品	400〃	〃 〃 250	¥100,000

1月4日 千葉商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	200個	@¥750	¥150,000
-----	------	-------	----------

1月6日 栃木商店に次の商品を売り渡し、代金の一部については下記の約束手形#3で受け取り、残額は掛けとした。

A 品	300個	@¥750	¥225,000
B 品	260〃	〃 〃 400	¥104,000

No. 3 約束手形	
神奈川県横浜市南区南太田2-30-1 神奈川商店 神奈川 太郎 殿	
収入 印紙 200円 栃木	金額 ¥200,000
支払期日 平成 〇 年 2 月 16 日 支払地 栃木県栃木市 支払場所 株式会社 全商銀行栃木支店	
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします 平成 〇 年 1 月 16 日 振出地 住所 栃木県栃木市片柳町5-1-30 振出人 栃木商店 栃木 一郎 (印)	

1月9日 栃木商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり値引きをおこなった。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

B 品	20個	@¥ 50	¥ 1,000
-----	-----	-------	---------

30日 千葉商店から売掛金の一部 ¥120,000 を同店振り出しの小切手#13で受け取った。

4

次の各問いに答えなさい。

(1) 群馬商店（個人企業）の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 期間中の収益総額

b. 期首の資本金

資 本 金			資 料		
12/31 次期繰越	4,450,000	1/1 前期繰越()	i 期間中の費用総額	¥6,300,000	
		12/31 損 益()	ii 当期純利益	¥ 650,000	
	<u>4,450,000</u>			<u>4,450,000</u>	

(2) 茨城商店はA品とB品を販売し、商品有高帳を移動平均法によって記帳している。次の勘定記録と商品有高帳によって（ア）から（ウ）に入る金額を求めなさい。ただし、A品は/個あたり ¥600 で販売し、B品は/個あたり ¥400 で販売している。

売 上	
1/9 売掛金(ア)	
20 売掛金	40,000
仕 入	
1/16 買掛金(イ)	

商 品 有 高 帳										
(移動平均法)										
		品 名 A 品						単位：個		
平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/	/ 前月繰越	180	500	90,000				180	500	90,000
	9 高崎商店				130	500	65,000	50	500	25,000
	16 大宮商店	250	500	125,000				300	500	150,000

商 品 有 高 帳										
(移動平均法)										
		品 名 B 品						単位：個		
平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
/	/ 前月繰越	80	300	24,000				80	300	24,000
	16 大宮商店	120	350	42,000				()	(ウ)	()
	20 水戸商店				100	()	()	()	()	()

5

東北商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理仕訳を示しなさい。
- (2) 備品勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 損益計算書を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 370,000	当座預金	¥ 840,000	売掛金	¥ 1,200,000
貸倒引当金	3,000	繰越商品	760,000	備品	640,000
支払手形	250,000	買掛金	982,000	資本金	2,000,000
売上	9,300,000	受取手数料	120,000	仕入	6,500,000
給料	1,320,000	支払家賃	672,000	水道光熱費	288,000
消耗品費	42,000	雑費	19,000	現金過不足 (借方残高)	4,000

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥680,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥800,000 残存価額は零(0) 耐用年数5年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ¥4,000 は雑損とする。

第79回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

1	借	方	貸	方
	a			
	b			
	c			
	d			
	e			
	f			
	g			
	h			

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

<u>入金伝票</u> 平成○年 月 日 No. _____								
科目		入金先	殿					
摘要			金額					
合 計								

<u>出 金 伝 票</u> 平成○年 月 日 No. _____									
科目			支払先		殿				
摘 要			金 額						
合 計									

振 替 伝 票 No. _____ 平成○年 月 日															
勘 定 科 目				借 方				勘 定 科 目				貸 方			
合 計								合 計							
摘要															

帳 訳 仕

1

[illegible]

帳 元 定 勘 総

現金

1

平○成 年	摘 要	仕	借 方	平○成 年	摘 要	仕	貸 方
/ /	前期繰越	✓	240,000				

壳 掛 金

4

平 成 年	摘 要	仕 丁	借 方	平 成 年	摘 要	仕 丁	貸 方
/	/		前期繰越	✓		430,000	

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

帳 上 売

1

[illegible]

帳 元 金 掛 売

千葉商店

1

平成 〇年	摘要	借方	貸方	借は また貸 は	残高
/ /	前月繰越	250,000		借	250,000

枋 木 商 店

2

平成 ○年	摘要	借方	貸方	借は また貸 は	残高
/ /	前月繰越	180,000		借	180,000

4

(1)

a	2/	b	2/
---	---------------	---	---------------

(2)

ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
---	--------------	---	--------------	---	--------------

2

得点

3

得点

4

得点

5

(1)

	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備	品	6
1 / 1 前期繰越	640,000	

(3)

損 益 計 算 書

東北商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費	用	金	額	収	益	金	額
売	上	原	価	売	上	高	
給		料		(		)	
(		)					
(		)					
支	払	家	賃				
水	道	光	熱	費			
消	耗	品	費				
雑		費					
(		)					
(		)					

5

得点

1	借 方		貸 方	
	仕 入	632,000	買 掛 金	620,000
a			買 現 金	12,000
b	通 信 費	8,000	小 口 現 金	20,000
	交 通 費	10,000		
	雑 費	2,000	当 座 預 金	20,000
	小 口 現 金	20,000	当 座 預 金	20,000
c	(または、通 信 費 8,000、交 通 費 10,000、雑 費 2,000)		備 品	380,000
	現 金	310,000		
d	固定資産売却損	70,000		
	買 掛 金	270,000	当 座 預 金	180,000
e			当 座 借 越	90,000
	有 価 証 券	1,160,000	当 座 預 金	1,160,000
f	販 受 金	150,000	売 掛 金	150,000
g	当 座 預 金	237,000	受 取 手 形	240,000
	手 形 売 却 損	3,000		
h	引 出 金	6,000	仕 入	6,000

2		入 金 伝 票		出 金 伝 票	
		平成○年 月 日		平成○年 1月23日	
科目	摘要	入金先	取 引 先	科目	摘要
	摘要	金額	金額	科目	摘要
摘要	金額			科目	摘要
合 計				合 計	

振 替 伝 票		No. 36	
		平成○年 1月23日	
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
借 入 金	270,000	当 座 預 金	270,000
合 計	270,000	合 計	270,000
摘要 米沢商店に借入金を返済 小切手# 18			

仕 訳 帳		1	
平成○年	摘要	借 方	貸 方
/ / 7	前期繰越高 (仕入) 諸 (現 金)	3,780,000	3,780,000
14	(売 掛 金)	4	80,000
16	(売 掛 金)	4	320,000
19	(売 掛 金)	4	150,000
30	(現 金)	1	329,000
	(受 取 手 形)	200,000	
	(売 掛 金)	129,000	
	(売 掛 金)	1,000	
	(現 金)	4	1,000
	(現 金)	1	120,000
	(現 金)	4	120,000

総 勘 定 元 帳		1	
平成○年	摘要	借 方	貸 方
/ / 30	前期繰越 (仕入) 諸 (現 金)	240,000	80,000
14	(売 掛 金)	1	
16	(売 掛 金)	1	
19	(売 掛 金)	1	
30	(現 金)	1	
	(受 取 手 形)	200,000	
	(売 掛 金)	129,000	
	(売 掛 金)	1,000	
	(現 金)	4	1,000
	(現 金)	1	120,000
	(現 金)	4	120,000

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

売上帳				1
平成 〇年	摘要	内 訳	金 額	
1 14	千葉商店 掛け			
	A 品 200個 @¥750		150,000	
16	栃木商店 約手・掛け			
	A 品 300個 @¥750	225,000		
	B 品 260個 @¥400	104,000	329,000	
19	栃木商店 掛け値引き			
	B 品 20個 @¥50		1,000	
31	総売上高		479,000	
〃	売上値引高		1,000	
	純売上高		478,000	

売 掛 金 元 帳

千葉商店						1
平成 〇年	摘要	借 方	貸 方	借 方 は 貸 方	残 高	
/ /	前月繰越	250,000		借	250,000	
14	売り上げ	150,000		〃	400,000	
30	回収		120,000	〃	280,000	
31	次月繰越		280,000			
		400,000	400,000			

栃木商店						2
平成 〇年	摘要	借 方	貸 方	借 方 は 貸 方	残 高	
/ /	前月繰越	180,000		借	180,000	
16	売り上げ	129,000		〃	309,000	
19	売上値引		1,000	〃	308,000	
31	次月繰越		308,000			
		309,000	309,000			

4

(1)

a	¥	6,950,000	b	¥	3,800,000
---	---	-----------	---	---	-----------

(2)

7	¥	78,000	1	¥	167,000	ウ	¥	330
---	---	--------	---	---	---------	---	---	-----

5

(1)

借 方			貸 方		
	仕 入	繰越商品	繰越商品	仕 入	
a					
	繰越商品	680,000	仕 入	680,000	
b	貸倒引当金繰入	21,000	貸倒引当金	21,000	
c	減価償却費	160,000	備 品	160,000	
d	雑 損	4,000	現金過不足	4,000	

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品

1/1	前期繰越	640,000	12/31 減価償却費	160,000
			〃 次期繰越	480,000
		640,000		640,000

(3)

損 益 計 算 書

東北商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費	用 金	額	収 益	金 額
売上原価	6,580,000	売上高		9,300,000
給 料	1,320,000	(受取手数料)		120,000
(貸倒引当金繰入)	21,000			
(減価償却費)	160,000			
支払家賃	672,000			
水道光熱費	288,000			
消耗品費	42,000			
雑 費	19,000			
(雑 損)	4,000			
(当期純利益)	314,000			
	9,420,000			9,420,000

(i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
ii 当期純利益の記入は、赤字でもよい。)